

## 計算書類に対する注記（法人合計（社会福祉法人 友朋会））

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

### 2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

・建物並びに器具及び備品 — 定額法

・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

— 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

— リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金 — 熊本県社会福祉協議会の退職共済については、退職給付引当資産、退職給付引当金共に掛け金累計額で計上している。

・賞与引当金 — 賞与1回あたりの前年度職員1名あたりの平均賞与支給額×支給見込み人数により計上を行っている。

### 3. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

(1) 社会福祉施設職員等退職共済手当制度 — 独立行政法人福祉医療機構

(2) 熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済制度 — 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会

(3) 中小企業退職金共済制度 — 独立行政法人勤労者退職金共済機構

### 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人は、社会福祉事業のみの実施のため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人は、友朋会拠点のみの実施のため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 友朋会拠点計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(7) 友朋会拠点事業活動明細書(別紙3(⑩))

(8) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 友朋会拠点（社会福祉事業）

「法人本部」

「施設入所支援事業」

「生活介護事業」

「短期入所事業」

「就労継続支援B型事業」

「特定・児童相談支援事業」

「共同生活援助事業」

「生計困難者に対する相談支援事業」

### 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	69,513,699	0	0	69,513,699
建物	519,386,533	0	16,301,007	503,085,526
建物付属設備	96,303,811	0	13,482,951	82,820,860
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	0
合計	685,204,043	0	29,783,958	655,420,085

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項なし

8. 担保に供している資産

該当事項なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	69,513,699	0	69,513,699
建物（基本財産）	651,322,484	148,236,958	503,085,526
建物付属設備（基本財産）	218,513,959	135,693,099	82,820,860
建物	1,655,000	1,539,499	115,501
構築物	140,341,043	70,168,025	70,173,018
機械及び装置	5,616,432	2,409,188	3,207,244
車輛運搬具	20,556,939	17,186,918	3,370,021
器具及び備品	46,023,518	31,795,587	14,227,931
ソフトウェア	1,563,840	1,507,104	56,736
その他の固定資産（リサイクル料）	61,990	0	61,990
合計	1,155,168,904	408,536,378	746,632,526

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	57,864,667	0	57,864,667
未収補助金	2,349,000	0	2,349,000
未収収益	408,500	0	408,500
合計	60,622,167	0	60,622,167

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

13. 重要な偶発債務

該当事項なし

14. 重要な後発事象

該当事項なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当事項なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

次期繰越就労支援事業活動増減差額に関する注記

就労支援事業活動増減差額	△ 790
前期繰越就労支援事業活動増減差額	7,340,895
当期繰越就労支援事業活動増減差額	△ 790
工賃変動積立金取崩額	0
設備等整備積立金取崩額	0
工賃変動積立金積立額	0
設備等整備積立金積立額	0
次期繰越就労支援事業活動増減差額	7,340,105